

部長会議 報告書

令和元年 10 月 15 日(火)

3 階第 2 会議室 9:15~10:10

1. 議題・課題等提案

(1) 子ども未来局

⇒ 資料にもとづいて説明（子ども未来局長）

I. 学童保育所の現状について

- ・学校の空き教室は学童保育に利用できると思うが、学校現場で先生は学童保育をどのように捉えているか。（平野副市長）
→学校の敷地内に学童保育所が入る場合、セキュリティの面で課題があると考えている。学校では、放課後子ども教室の取り組みもあるが、授業が長くなり、役割は学童保育へシフトしている。先生方も、現在は、学童保育所に子どもを預けていることもあり、理解は高まっている。学童保育所が学校と同じ敷地内にあることは安全面でも良く、今後、関係部局で検討していきたいと思う。（教育長）
- ・現在も夏休み期間中の学童保育の予算は市単独費での対応か。（平野副市長）
→県要望にも挙げているが、まだ単費扱いである。（子ども未来局長）
- ・長期休暇期間中の子どもの居場所について、学校にエアコンがついたので、夏休み中も利用できないか。（市長）
→管理面や安全面をどうすべきかが課題である。施設開放は教頭が対応しており、その負担も考える必要がある。（教育長）
- ・まちづくり協議会と協力して学童保育をやることはできないか。場所と人は近い場所で確保できるとよい。学校には地域活動、コミュニティスクールの視点で考えてほしい。三者が上手く連携してできるとよい。（市長）

II. 医療的ケア児について

- ・医療的ケア児の教育現場で受入れのための課題は。（市長）
→看護師が常駐することになるが、その確保が課題である。報酬面では近隣自治体と遜色ない条件を用意する必要がある。勤務面では夏休み期間があつてよいという声もあるが、現場では一人で対応しなければならないというプレッシャーもある。国県へは要望しているが、看護師配置に対し、小学校は補助金があるが、幼稚園には無いということもある。（教育長）
→病院では、小児科医の確保の問題から、特に小児の救急搬送の受入れが難しく課題となっている。（医療センター理事）
- ・行政として支援できることはないか。例えば、病院のスタッフとして、学校に看護師を配置することができれば、連携もスムーズである。（市長）

→看護師の確保についても難しい状況があり、病院では課題となっている。

(医療センター理事)

- ・医療センターとは今後も情報共有して対応を考えていく必要がある。(市長)

2. その他

(1) RESAS(リーサス)研修の実施について(市長公室)

⇒資料にもとづいて説明(統括監)

(2) 選挙改革PTの設置について(総務部)

⇒資料にもとづいて説明(総務部長)

- ・この取り組みは、改革により何かを削減するというのではなく、「いかに投票率を上げるか、投票者の視点で考えること」を目的として進めるものである。(総務部長)
- ・選挙の状況も昔と変わってきており、現状把握や検討にあたっては、選挙に臨んできた当事者である「議員」の声を聴いて、進めていただきたい。(市長)

(その他)

①桑名市国土強靱化地域計画策定ワーキングの参加者選任について(都市整備部)

国土強靱化地域計画の策定に向け、第1段階として国土交通省支援に係るものについて、年内12月末の完成を目指しており、関係所属のワーキングへの参加を依頼するので、ご協力をお願いしたい。(都市整備部長)

②桑名市総合医療センターについて

総合医療センターは、今年度中に災害拠点病院の指定を受けたいと考えており調整を進めている。各部局に協力をいただく部分もあり、よろしくをお願いしたい。(医療センター理事)